

## 座右の銘



## 為せば成る！

**小澤 孝一郎** 大学院医系科学研究科 薬学分野 治療薬効学 教授

この言葉をいつ知ったか定かではありませんが、恐らく、歴史小説が好きな私が高校生の頃に、司馬遼太郎先生のエッセイか何かを読んで知ったのではないかと思います。全文は「為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」で、本人が詠んだ歌かどうかは不明ですが、財政改革を断行して藩財政を立て直した米沢藩第9代藩主・上杉鷹山（1751-1822）が、次期藩主や家臣に向けた家訓として残したものであると言われています。非常に感銘を受け、以来、困難に遭遇した際には、柄にも無く常にこの言葉を思い出すようにしています。とは言え、人生そんなに上手く行くわけでもなく、為しても成らないことの方が多いの現実です。しかし、まずは為さねば何も起こらないので、行動を起こすだけでも価値があるはず。そして、成せなかった時でも、成し遂げた時でも、高校進学時に母が筆で半紙に書いてくれた「継続は力なり」（今もちゃんと保管しています）を信じ、粘り強く事に当たるように心掛けています。

大学を取り巻く環境を含め、世界は激動の時代を迎えており、多くの困難に立ち向かう必要があります。こんな時代こそ、「為せば成る」は私に勇気を与えてくれます。自分にいつ何が成せるか、悩みは尽きませんが、為さぬ人にだけは成りたくないと思っています。



## 人生は流れだ

**砂川 融** 大学院医系科学研究科 保健学分野 上肢機能解析制御科学 教授

年度末になると毎年卒業生に贈る言葉を書くようにという依頼を受けます。その時いつも書いているのが「人生は流れだ」です。これは座右の銘、というよりはこれまでの自分の人生を振り返った時の感想に近いものです。人生には数多くの分岐点がありその度に熟考し自分の力で悔いの残らない道を選択する、自分の人生を後悔しないために、とよく言われていると思います。振り返って自分の人生を考えたときに果たしてそうだったでしょうか？大学を選ぶ時（地元広島大学）、専門を決める時（整形外科、その中でも手外科）、留学を決める時（憧れのMayo Clinic）、等々、熟考した覚えがありません。人生に確固たる信念、座右の銘のない私は、なんとなく「今の流れはこうだからこれに乗って行こう」と判断し、進む道を決めていたように思います。振り返って後悔がなかった、と言えば嘘になるかもしれませんが、別の選択をしていればそれはそれで後悔していた可能性も大いにあります。「人生は流れだ」には続きがあります。「流れを掴め、流れに抗うな」です。流れを読む努力は必要だと思います。ただ忘れてはならないのは、流れを作り、その流れに乗る自分をサポートしていただいた方々への感謝です。どのような場所においてもそこで頑張っていれば良い流れが来ると思っています。次にどのような流れが来るか楽しみにしながら、今できることを頑張っていきたいと思っています。